

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 13名（平成25年3月31日現在）																													
収支実績	収入	支出	収支差額																											
	<table border="1"> <tr> <td>経常活動</td> <td>36,417,088円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>26,308,122円</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>2,172,312円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>62,400円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>7,674,066円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>200,188円</td> </tr> <tr> <td>財務活動</td> <td>17,200,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53,617,088円</td> </tr> </table>	経常活動	36,417,088円	自立支援費等	26,308,122円	雑収入	2,172,312円	指定管理料	62,400円	川崎市独自扶助	7,674,066円	その他	200,188円	財務活動	17,200,000円	合計	53,617,088円	<table border="1"> <tr> <td>経常活動</td> <td>53,902,052円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>42,084,832円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,577,729円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5,138,430円</td> </tr> <tr> <td>会計単位間繰入金</td> <td>101,061円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53,902,052円</td> </tr> </table>	経常活動	53,902,052円	人件費	42,084,832円	事務費	6,577,729円	事業費	5,138,430円	会計単位間繰入金	101,061円	合計	53,902,052円
経常活動	36,417,088円																													
自立支援費等	26,308,122円																													
雑収入	2,172,312円																													
指定管理料	62,400円																													
川崎市独自扶助	7,674,066円																													
その他	200,188円																													
財務活動	17,200,000円																													
合計	53,617,088円																													
経常活動	53,902,052円																													
人件費	42,084,832円																													
事務費	6,577,729円																													
事業費	5,138,430円																													
会計単位間繰入金	101,061円																													
合計	53,902,052円																													
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会のお祭りへの参加や幸区の自立支援協議会への参加等、積極的に地域との交流を図っている。</li> <li>・地域や関係機関との連携による支援や様々な支援手法の模索により、利用者から選ばれる施設となりつつあり、新規利用者の獲得につながりつつある。</li> </ul>																													

3. 評価（評価段階：5～1、標準：3、加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
（評価の理由） ・創作活動や運動プログラム、菜園等障害の程度の重い利用者であっても充実した日中活動を行えるよう工夫している。 ・前例がないALSの利用者について、病院等の関係機関や家族と連携して支援方法を学び、職員間で共有することで事業所全体で支援技術を身に付けた。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
（評価の理由） ・新規利用者がなく、既存の利用者が長期入院などで利用率が下がったため、給付費による収入が見込みよりも少なかったため、法人から繰り入れも行っている。 ・会計基準に基づいた適切な会計手続を行い、給付費の請求についても遅滞なく行われている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
（評価の理由） ・ボールプールやスヌーズレン等他の施設のプログラムを学び、自分たちで創意工夫して安く自作し、同様の効果を上げている。 ・屋上菜園の野菜の収穫等重度の身体障害者であっても達成感を味わえる活動を考案し、利用者が充実感を味わえるようにしている。 ・職員が支援の中で気付いた事項や利用者・家族からの意見等は「ヒヤリハットシート、ご意見・ご要望シート」や「連絡帳」によって管理し、その都度対応する体制を取っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>法人の研修システムにより経験年数などに応じて研修に参加している。職員が自分たちで調べて、前例のないケースの受入れを模索したり、道具を自主制作したりしている。</li> <li>ヒヤリハットの共有とその事例の分析により事故を防止する仕組みを構築している。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>各種保守、点検等について、委託にて適切に行われている。</li> <li>備品・消耗品は複数の職員がダブルチェックし、台帳に基づいて管理している。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 極めて重度で法人としても受入れの前例のないALSの利用者について、関係機関と連携して支援方法を模索し、事業所全体で支援技術を身に付けている。
- 他施設の道具を自主製作することで速やかに支援に繋がったこと、屋上菜園を通じて収穫の喜びを利用者に感じてもらったこと等、職員が自ら支援方法を創意工夫している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 引き続き利用者の個性やニーズを捉えた支援方法のバリエーションを増やす等、サービス向上の取組みを推進すること。
- 利用率の向上による収入の確保や支出の抑制により、施設単独での黒字化に向けた取組みを進めること。